



第2530地区 福島西ロータリークラブ会報

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

令和4年5月9日(月) 第29回 通算第1623回例会

会長 高橋 智 弘
 幹事 相澤 隆
 奉仕プロジェクト委員会委員長 高梨 哲 男
 会報写真担当 宮崎 秀 剛

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第29回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 高橋 智 弘会長
- ◇国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 西形 健 吉会員
- ◇「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会 佐藤 慶 行委員長

5月誕生祝い



- ・西形 健吉会員 昭和20年5月28日生
- ・石川 淳一会員 昭和42年5月4日生

◇県北第一分区ゴルフ大会・各賞伝達



◇会長あいさつ 高橋 智 弘会長



皆さん、こんにちは。3年ぶりの行動制限がない中でのゴールデンウィークは楽しくお過ごしになられたでしょうか。とは言え、オミクロンの新種株が見つかるなど、コロナが収束したわけではありませんので、感染対策を守りながら今後の例会を行っていききたいと思います。

さて、5月誕生日の西形健吉会員、石川淳一会員お誕生日おめでとうございませう。また、分区のゴルフ大会で各賞をお取りになったみなさんおめでとうございませう。5月は青少年奉仕月間ですが、青少年奉仕は1923年セントルイス国際大会で「善良で健全な市民を育てる」青少年奉仕活動が討議されて、当初は社会奉仕委員会の小委員会として発足しました。のちに青少年育成の重要性から5番目の奉仕部門となりました。青少年交換、奨学生、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成

プログラム、職業相談指導、ロータリー地域共同隊、身体障害者の援助、各種野外活動などを通じて才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てることを目的としています。我がクラブにはインターアクト、ローターアクトはありませんが、30歳未満の若いひとすべてを含む青少年の多様なニーズを認識しつつ、青少年の生活力を高めることによって、将来への準備をさせる手助けができるプロジェクトは何かないか、会員の皆さんと考えていければと感じます。また、今月28日には県北第一分区の新世代会議が開催されますので、その後にご報告をしたいと思ひます。

さて、今日は青少年奉仕の寺島英樹委員長にスピーチをお願いしておりましたが、都合により私がピンチヒッターでスピーチさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

◇幹事報告 相澤 隆幹事

○その他のお知らせ

- ・本日午後6時半から、「峰亀」曾根田店にて5月理事会を開催いたします。理事役員の皆様は出席をお願いいたします。
- ・15日(日)開催の地区研修・協議会はオンライン開催となります。参加予定の皆様は宜しくお願ひ申し上げます。
- ・5月ロータリーレートは130円となりますのでお知らせいたします。

◇委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 高梨 哲 男委員長

- 高橋智弘会長=皆さん、お久しぶりです。今日はピンチヒッターでスピーチさせていただきます。
- 梅津一匡会員=強力な制限がない3年振りのゴールデンウィークでしたが、皆様どのようにお過ごしだったでしょうか？平穏な時はどうだったのかを思い出すのに大変苦勞をいたしました。
- 久米允彦会員=連休中は、食っちゃ寝の連続で、太ってきました。会長、ピンチヒッター御苦勞様です。
- 西形健吉会員=誕生祝、ありがとうございます。
- 宮崎秀剛会員=今年の予定が続々と入って来ているのですが、コロナ禍でどうなることやら。スケジュールをこなせるよう祈っています。

——— 青少年奉仕委員会スピーチによせて ———

- 相澤 隆幹事 ○石川淳一会員 ○大平謹一郎会員
- 黒澤信之会員 ○佐藤卓立会員 ○佐藤宗弘会員
- 佐藤慶行会員 ○齋藤武二会員 ○野尻榮一会員
- 渡辺敬藏会員 ○高梨哲男会員

本日のスマイリングBOX集計16件 32,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇会報・雑誌・広報・IT小委員会報告 宮崎 秀剛委員長
◇「ロータリーの友」5月号紹介



◇本日のプログラム——青少年奉仕委員会スピーチ
高橋 智弘会長



今日は青少年奉仕委員会委員長スピーチということでしたが、寺島委員長が仕事の都合で欠席となりましたので、ピンチヒッターとして私がスピーチさせていただきます。

5月は青少年奉仕月間ということで、まずは、今年度事業として、地区補助金を活用し「福島市内小学校マーチングバンドクラブ応援プロジェクト」として福島市立野田小学校と吉井田小学校へ楽器を寄贈させていただいたお話からさせていただきます。コロナ禍の影響で大会の中止が相次いだ去年と比べ今年は何とか大会が開催され、子供たちは今まではよそから借りていた楽器だったりしたものが、自前の楽器を使って大会に参加できたとのことで大変喜んでおりました。自分たちの活動を地域の大人たちが応援し、見守ってくれているという繋がりを再認識し、練習にも力が入ったとのことで先生方もとても感謝しておられました。せっかくの機会ですので、子供たちが頑張っている様子を皆様にも御覧いただこうと思います。



【野田小学校マーチングバンド演奏のビデオ紹介】

続いて、ロータリーにおける青少年との活動の歴史についてお話させていただこうと思います。お話は多くのクラブが「Boy's Week」という国際行事に参加していた1920年代までに遡ります。

ロータリーの歴史

ロータリーにおける青少年のための活動は、1920年5月、ニューヨーク・ロータリー・クラブが地元団体と協力して行ったBoy's Weekを初の行事として始まりました。教育、市民、衛生、職業の分野で青少年の育成を促すためのこのイベントは大

成功。1920年ロータリー国際大会で成功が報告されると、数年前に結成された活動委員会とともにBoy's Weekプログラムが始まりました。ロータリー・クラブはこのプログラムで、地元の青少年がよき市民となるよう、少年非行、不登校、不健康を防ぐ活動に取り組むようになりました。

少年週間の行事は、たちまち世界へ広がりました。1920年代中頃までには、25カ国、約600カ所で開催されるようになり、1928年には3,000地域で開催されています。また1924年にミシシッピ州でBoy's Weekとともに開かれたLoyalty Dayに、少年に加えて少女も参加し、プログラムの対象が広がっていきました。

1920年代後半には米国で全国少年週間委員会(National Boy's Week Committee)が設置されました。ロータリーもそれに参加することとなり、クラブはBoy's Weekプログラムの目標を達成するために地元でのBoy's Week行事を支援するよう推奨されました。

1934年にはBoy's Weekが青少年週間(Youth Week)となり、1936年には「Boys and Girls Week」(少年・少女週間)へと変わっていきました。

1954年、RI理事会はBoys and Girls Week週間への公式参加中止を決定しましたが、地元青少年のための奉仕をその後も続けるようクラブに推奨しました。

ロータリーは後に、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換といった青少年や若者のためのプログラムを創設しています。

2010年、新世代奉仕がロータリーの第5奉仕部門となりました。指導力育成活動、地元や海外での奉仕プロジェクト、交換プログラムといった活動を通じて若い人々に素晴らしい経験の機会を提供し、世界平和と異文化理解が実現されるよう、ロータリアンは現在も活動を続けています。

以上、5月青少年奉仕月間のスピーチとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

◇閉会点鐘 高橋 智弘会長
※会報カメラ担当 宮崎 秀剛会員



県北第一分区親善ゴルフ大会について

- ・日時 2021年4月16日(土)
- ・場所 パーシモンカントリークラブ

————— 大会結果 —————

団体優勝：福島南RC 団体6位：福島西RC
小波賞：石川淳一会員

